

令和7年度

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

東伏見小学校

第2学年

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： 「もっとしりたい！ 下野谷いせき はっけんたい」  
(活動名)

ねらい：

自分たちの住む町の下野谷遺跡を継続して訪れ、植物や生き物、歴史の移り変わりを五感で捉える。地域の方々の思いに触れることを通して、下野谷遺跡への関心を高め、自分たちが住む町に愛着をもつ。

【11月6日(木)】

青空のもと下野谷遺跡で「縄文カルタ」に挑戦しました。地域学習推進課の方の話をよく聞き、ただ札を取るだけでなく、縄文時代の人たちがどんな暮らしをしていたのか、今の自分たちとどう違うのか考えながら活動できました。

また、自分たちが想像した縄文時代の発表では、友達の意見によく耳を傾ける場面も多く、学びが深まりました。



【2月9日(月)】

下野谷遺跡が真っ白な雪に包まれました。竪穴住居に積もった雪をよく見て「昔の人たちもこんな寒い中で雪を見ていたのかな。」と当時の人たちの生活を想像していました。雪の結晶をじっくり観察したり、雪を使った遊びを工夫して考えたりして、冬ならではの遺跡の良さを全身で感じることができました。



## まとめ

下野谷遺跡が、大昔から人が大切に住み続けてきた大切な場所であることを、1年間の活動を通して学びました。下野谷遺跡を継続して訪れたことで、季節ごとに変わる植物や生き物、そして遺跡を守ってくれている地域の方々の温かさに触れ、たくさんの「地域のたからもの」を発見できました。

今後も、この下野谷遺跡という東伏見小学校ならではの宝物を大切にしながら、地域学習を通して、みんなが住む地域に愛着を更に深めてほしいと願っています。